



## 心通う おくりもの

民生委員児童委員の皆さん

2月18日(金)、日野町民生委員児童委員の皆さんが、「しあわせのおはぎづくり」を実施されました。

赤ちゃんからお年寄りまで、すべての人を対象にした民生委員児童委員の活動のうち、地域福祉部会が企画されているもので、23回目を迎えられました。

「元気で長生きしてほしい」という願いがこもった「しあわせのおはぎ」は、70歳以上の一人暮らしの方389軒に配られました。



▲きなことあんのおはぎをパック詰め。東桜谷公民館を会場に、朝8時から作られました

## アフリカの子どもたちとつながる 西大路小学校の取り組み

西大路小学校では、今年1月から、「スマイルアフリカプロジェクト」に参加されています。これは、使われなくなった靴を集め、裸足での暮らしを余儀なくされているアフリカ・ケニアの子どもたちに靴を届けるものです。

2月28日(月)には、児童たちが集めた靴を箱詰めする作業が行われました。集められた靴は、419足にもなりました。

箱詰めされた靴は、ケニアの現状について学んだ児童たちのメッセージとともに、3月14日(月)にケニアへ送られました。



▲靴の数を数えながら、箱詰めする児童たち

## ふれあいいっぱい ゆめの森づくり

桜谷小学校の裏山整備

3月5日(土)、桜谷小学校の裏山で、花の咲く木の植樹やフェンス張りなどの作業が行われ、約70名の方が参加されました。

同窓会、林業研究グループ、PTA、地域有志の方、学校が協力し、裏山の整備が進められています。

桜谷地区の幅広い年代の方々のアイデアと技術が生かされ、裏山はどんどん美しくなり、作業をするのが「おもしろい」と子どもたち。

皆さんの思いが込められた裏山は、今後、遊びと学びの場となり、地域の憩いの場となることでしょう。



▲作業に参加された皆さん。使われていなかったテーブルは、森のレストラン(仮称)のために前年度卒業生が色を塗りました



## 趣向を凝らしたひな飾り…



## まちのわだい



▲さじきまど 棧敷窓からおひなさまを眺められるのは、日野ひなまつり紀行だけ

## おもてなしの心が随所に

### 日野ひなまつり紀行

2月6日(日)から3月6日(日)まで、「日野ひなまつり紀行」が開催されました。東は綿向神社から西は日野ギンザ商店街にいたるまで、ひな人形やアイデアいっぱいひな飾りが町並みを彩りました。

4回目を迎えた今年、この催しに参加されたのは184か所にもなりました。

まつりやし 祭囃子の演奏や人力車の運行などは、ひな飾りとともに、雰囲気盛り上げました。

地域の方々がさまざまな趣向を凝らし、「おもてなしの心」が随所に感じられる催しとなりました。



▲日野町商工会による「ふるさと 風流郷邸」では、ひな飾りのもと、琴の音色を聞きながら、ちよつとつつく。地産地消の「ふるさと御膳」も販売



▲嘉田知事が見学に来られました。今年初めて日野まちかど感応館でそば処を開かれた「そば工房あべい」の皆さん、藤澤町長と一緒に



▲「いろいろなおひなさまがいっぱい見られました」と、見学のあと日野うどんを賞味



▲日野ひなまつり紀行に合わせて、花桐の会と図書館が開催した「かわのゆうこ 歌人河野裕子さんを偲ぶ」。日野東中学校に勤務されていた、故河野裕子さんの教え子の方々が中心となって開催されました。河野さんの人生が歌から伝わり、感動の朗読会も行われました



▲2月6、26、27日に運行した日野ひな電には、十二単衣姿のしゃくなげ大使が乗車